

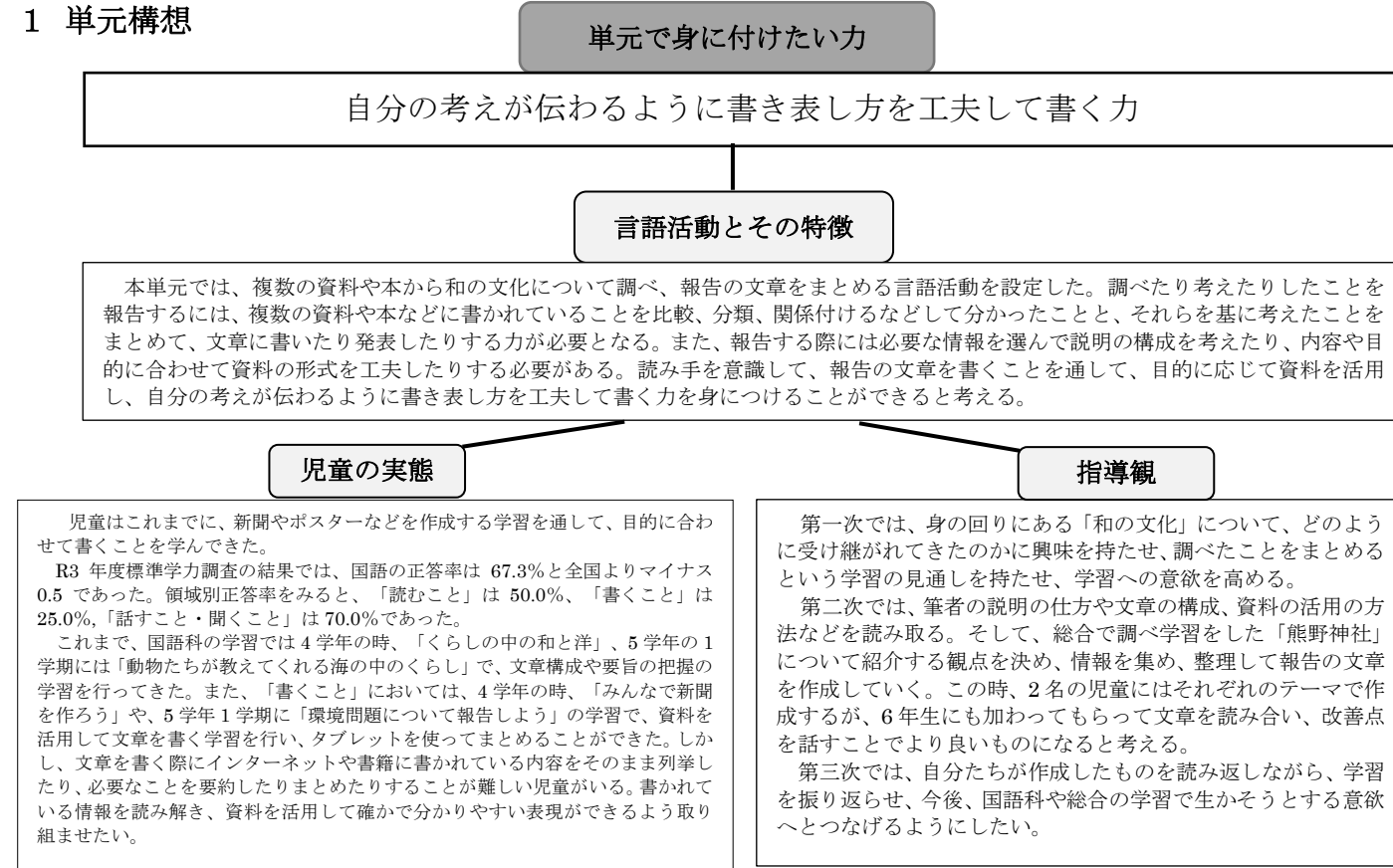
# 第5・6学年 国語科学習指導案

【令和3年10月27日（水） 第6校時 大用小学校 5学年：2名 6学年：2名 計4名 授業者 山脇 昌代】

（第5学年）

## ◆単元名 和の文化について調べよう 「和の文化を受けつぐ一和菓子をさぐる」

### 1 単元構想



### 2 単元の目標及び評価規準

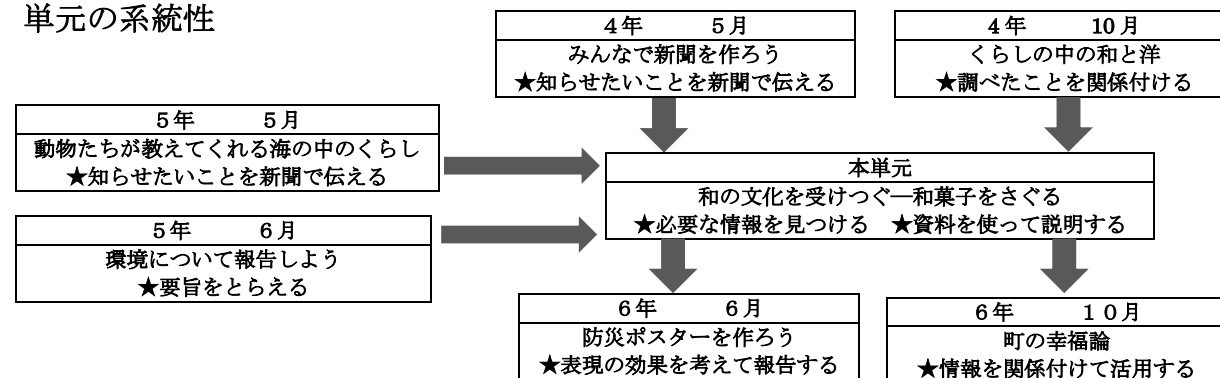
#### (1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①情報と情報との関係付けの仕方を理解できる。…(2)イ	①「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。B(1)オ ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。…C(1)ウ	①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

#### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方を理解している。…C(2)ウ	①「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。B(1)オ ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。…C(1)ウ	①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。

### 3 単元の系統性



### 4 研究主題に関わって

研究主題：確かな学力を身につけ、ともに学び合う子の育成

- 国語の見方・考え方を働かせる手立てを焦点化させる。
  - ・見方・考え方をどの場面で働かせたいのかを考え、意図的に設定する。
- 自分や友だちの考えを働かせる手立てをする。
  - ・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動を設定する。
- 家庭学習(特に予習)を授業の中で生かす場面をつくる。
  - ・意図的に家庭学習を生かす場面をつくる。

### 5 学習の流れ〔全14時間〕

学習過程	主な学習内容及び学習活動	評価の計画及び評価規準、評価の方法	言語活動
<b>第一次（つかむ）</b> 書くこと 読むこと 題材の設定・内容の検討	<b>①単元のゴールを知り、学習の見通しを立てる。</b> ・「熊野の筆を支える人々」を提示し、大用の「熊野神社」について調べ、報告の文書を書き、学校に掲示するものを作るという学習課題を確かめる。		大用の熊野神社について調べたことをもとに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して、全校児童やおうちの方々知ってもらえるものを作成する。
<b>第二次（取り組む）</b> 構成の検討 構造と内容の把握 精査・解釈	<b>②「和の文化を受けつぐ」を読んで筆者の説明の仕方を読み取る。</b> ・筆者の「和の文化」に対する考えと文章構成を読み取る。 ・筆者がどのような観点から説明しているか、どのように資料を活用しているかを考える。	<b>【思考・判断・表現①】</b> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。（発言・ワークシート）	
考えの形成・記述 推敲	<b>③「熊野神社」について説明する観点に沿って調べ、情報を集める。</b> ・設定した観点に必要な情報を集め、まとめる。  <b>④情報を整理して報告の文章を書き、まとめる。（本時）</b> ・選んだ情報と資料を使って、報告の文章を書く。 ・完成した報告の文章を6年生に聞いてもらい、交流する。	<b>【知識・技能】</b> ・情報と情報との関係付けの仕方を理解している。（発言・観察・ワークシート）  <b>【思考・判断・表現②】</b> ・「書くこと」において、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（観察・発表原稿・ワークシート）	
<b>第三次（振り返る）</b> 共有	<b>⑤単元の学習を振り返る。</b> ・学習したことを今後どのように生かしていきたいかを確かめ、今後の学習意欲を高める。	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・これまで学習してきたことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、積極的に必要な情報を見付けたり論の進め方について考えたりし、書き表し方を工夫して、調べたことを報告するものを作成しようとしている。（観察・ワークシート）	
<b>単元終了時に目指す児童の姿</b> ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く姿			

〔第6学年〕

◆単元名 町の未来をえがこう 「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」

1 単元構想

単元で身に付けたい力

資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力

言語活動とその特徴

本単元では、自分たちの学校の課題についてプレゼンテーションを行うという言語活動を設定している。みんなが楽しい学校生活を送るためにはどうしたらよいかを考え、下級生に課題点と解決方法を知ってもらい、一緒に行動してもらえるように説得する力が重要である。そして、プレゼンテーションを行う場合、まずは情報を集める力が必要となる。また、集めた情報を自分たちの発表の目的に合わせて取捨選択したり情報どうしを関係付けながら加工したりする力が大切になってくる。自分たちが集めた資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を身につけることができると考える。

児童の実態

児童はこれまでに、新聞やポスターなどを作成する学習を通して、目的に合わせて書くことを学んできた。  
R3年度全国学力・学習状況調査の結果では、国語の正答率は75.0%と全国よりプラス4.8であった。しかし、観点別にみると、「読むこと」は16.7%と低く、「書くこと」は75.0%、「話すこと・聞くこと」は100%であった。  
これまで、国語科、「情報活用」の学習では5学年の時、「和の文化を受けつぐ」で、必要な情報を見つけまとめる学習を行い、6学年の1学期には、「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習では、筆者の論の進め方を捉える学習を行ってきた。「話す」の学習では、5学年の時、「資料を見て考えたことを話そう」で、考えが明確にあるように話すことや資料と関係付けて話す学習を行ってきた。しかし、自分の考えを図表を使って伝えたり、プレゼンテーションをする機会は十分ではない。大用小学校のみんなが仲良く遊べる方法や手立てを、全校児童に分かりやすくプレゼンテーションできるように図表を使ったり、話し方に工夫をしながら、伝えることができるよう取り組ませたい。

指導観

第一次では、「町の幸福論」を読み、「みんなが笑顔になる大用小学校」について考え、プレゼンテーションするという活動の見通しを持たせ、活動への意欲を高める。  
第二次では、教材文の構成と資料の活用を捉え、「コミュニティデザイン」と筆者の主張について読み取り、自分たちの大用小学校についての提案内容を考える。アンケートや資料、本などから情報を集め、提案する中心的な内容を考える。5年生にも協力してもらい、練習のプレゼンテーションを行い、感想や意見交換をする。  
第三次では、全校の前でプレゼンテーションを行い、自分たちのプレゼンテーションを振り返るとともに、学びの過程を振り返ることで、今後に生かそうとする意欲へとつなげるようにしたい。

2 単元の目標及び評価規準

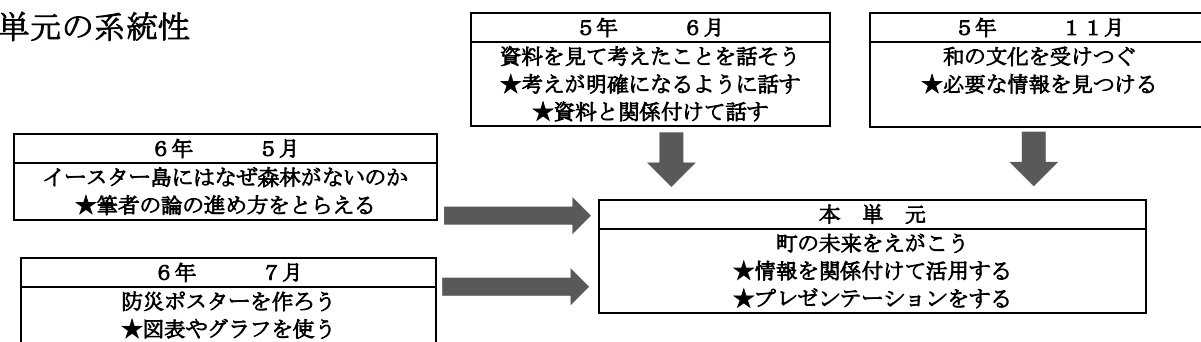
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。…(2)イ	①「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。…A(1)ウ ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えることができる。…C(1)ウ	①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。…(2)イ	①「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。…A(1)ウ ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。…C(1)ウ	①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。

3 単元の系統性



4 研究主題に関わって

研究主題：確かな学力を身につけ、ともに学び合う子の育成

- 国語の見方・考え方を働かせる手立てを焦点化させる。  
・見方・考え方をどの場面で働かせたいのかを考え、意図的に設定する。
- 自分や友だちの考えを働かせる手立てをする。  
・詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動を設定する。
- 家庭学習(特に予習)を授業の中で生かす場面をつくる。  
・意図的に家庭学習を生かす場面をつくる。

5 学習の流れ(全13時間)

学習過程	主な学習内容及び学習活動	評価の計画及び評価規準、評価の方法	言語活動
第一次(つかむ)	<p>話しこと 読むこと</p> <p>話題の設定</p> <p>①単元のゴールを知り、学習の見通しを立てる。 ・私たちの大用小学校についてプレゼンテーションを行うという学習課題を捉え、学習の流れを確認する。</p>		
第二次(取り組む)	<p>情報の収集・内容の検討・構成の検討・考えの形成</p> <p>構造と内容の把握</p> <p>精査・解釈</p> <p>②「町の幸福論」を読んで、自分たちの大用小学校について考える。 ・教材文の構成と資料の活用を捉え、「コミュニティデザイン」と筆者の主張について読み取り、自分たちの大用小学校について提案内容を考える。 ③今の大用小学校の課題や目指していることを考え、提案を考える。 ・大用小学校の現状や課題をアンケートをしてみつけ、資料や本などから情報を集め、提案する中心的な内容を考える。 ④プレゼンテーションして、意見交換をする。(本時) ・5年生にプレゼンテーションを行い、意見交換をする。</p>	<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(発言、ワークシート)</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(発言、ノート)</p> <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。(発言、ノート、プレゼンテーション)</p>	<p>私たちの大用小学校の児童が仲良く生活するためにどうしたらよいかを考え、構成を工夫したり資料を活用するなど工夫をしてプレゼンテーションを作成する。</p>
	<p>表現</p> <p>考えの形成</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・これまでの学習や経験を振り返って学習課題にし、学習の見通しをもって、粘り強く必要な情報を見付けたり、積極的に表現を工夫したりしながら、町の未来について考えたことをプレゼンテーションしようとしている。(発言、行動観察、ノート)</p>	
第三次(振り返る)	<p>共有</p> <p>共有</p> <p>⑤構成を工夫したり資料を効果的に活用したりするなどの工夫をしてプレゼンテーションを行うことができたかを振り返る。</p>		
<p>単元終了時に目指す児童の姿</p> <p>○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する姿</p>			

6 本時の学習

(1) 目標

第5学年

(本時 1 2 / 1 4)

第6学年

(本時 1 1 / 1 3)

読み手を意識して、友だちと協力して文章を推敲することができる。

自分の考えが伝わるプレゼンテーションを作成することができる。

(2) 展開

学習活動及び学習内容	主な発問 (※) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○) 評価 (★)	教師の動き		学習活動及び学習内容	主な発問 (※) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○) 評価 (★)
			時間				
1. 前時を振り返る。	※読み手に分かるような文章にするには、どんなことに気をつければよいでしょうか。 ・写真や絵、グラフの使い方を工夫する。 ・事実、感想、意見を区別して書く。 ・文章の構成を工夫する。 ・表現や内容を分かりやすくする。	○前時の学習を振り返るとともに、単元のゴールを確認させる。  ○推敲する時のポイントを確認させる。  ○ポイントの中から、今回推敲するところを決めさせる。	0  8  12  25  40	直接指導  間接指導	1. 前時を振り返る。	※聞き手に分かるような文章にするには、どんなことに気をつければよいでしょうか。(5年生と一緒に考える) ・写真や絵、グラフの使い方を工夫する。 ・事実、感想、意見を区別して書く。 ・文章の構成を工夫する。 ・表現や内容を分かりやすくする。  ※聞き手を説得するポイントにはどんなものがありましたか。 ・資料を使って、説明を分かりやすくする。 ・資料を使う場面や順序を工夫する。 ・伝えたい内容と資料を合わせる。 ・聞き手にとって分かりやすい言葉や表現を使う。 ・発表の仕方を工夫する。(強調、速さ、引きつけ方)	○前時の学習を振り返るとともに、単元のゴールを確認させる。  ○聞き手を説得できるプレゼンテーションを行うために気をつけることを確認させる。  ○ポイントの中から、今回、工夫するところを決めさせる。
2. 本時のめあてを確認する。	読み手に分かるように文章を推敲しよう。				2. 本時のめあてを確認する。	聞き手を説得できるプレゼンテーションになるように工夫しよう。	
3. お互いが書いた文章を読み合い、助言や意見を出し合い、より良いものに推敲する。	※友だちのパンフレットがもっとよくなるように意見を出し合いましたよう。	○ポイントにそって5年2人がお互いの文章を読み合い、意見交換をさせる。			3. 作成したプレゼンテーションを使って読み合い、聞き手を説得できる工夫をする。		○読み手、聞き手に分かれてプレゼンテーションの練習をさせる。
4. 6年生に読んでもらい意見をもらう。		○6年生に読んでもらい助言をもらうように指導する。  ★読み手を意識して、文章を推敲することができるか。(思考・判断・表現②)			4. 5年生にプレゼンテーションを行い、意見交換をする。	※6年生のプレゼンテーションがもっと良くなるように、工夫したポイントに注意しながら聞きましよう。	○ポイントを確認してから、しっかりと聞けるように指導する。  ★自分の考えが伝わるプレゼンテーションにすることができたか。(思考・判断・表現②)
5. 本時の学習を振り返る。					5. 本時の学習を振り返る。		

(3) 準備物

タブレット、メニューボード

タブレット、提示用テレビ、メニューボード

(4) 板書計画

